

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和7年7月12日(土) 午後2時～3時30分

場 所 産業文化センター

参加者 44人



主な意見等

-
- 1 道路の維持管理について伺います。東武東上線をまたぐ大井陸橋の下の雑草がひどく、地域で手の届く範囲で除草していますが、柵の内側には手が届きません。市役所に相談しましたが、県道のため県の管轄だと言われました。もうちょっと迅速な対応をお願いできないでしょうか。
-

(市長)

県道については、私たち市で直接作業することはできませんが、お話の内容は承知いたしました。これはふじみ野市だけの話でなく、多くの自治体で社会保障費の増加などにより、公園の除草作業などの頻度が減っているのが現状です。埼玉県も同様に、河川の土手や県道の除草作業の間隔が空いてしまっています。しかし、地域の皆さんが自主的に協力してくださっている状況も踏まえ、県に改めて状況を伝え、早期対応を強く要請いたします。

-
- 2 地域コミュニティの課題についてです。私の住む大井本町町会では、市内で2番目に広い管轄となっており、住居も3,200を超えていますが、組織の高齢化と自治会加入率の低さが深刻な問題となっています。子どもたちの数は増えているように見えても一時的なもので、10年後には高齢化がさらに進むと感じています。子どもたちを守り、地域を活性化させるためにも、自治会の組織率向上は喫緊の課題だと考えています。
-

(市長)

おっしゃる通り、「2025年問題」や「2040年問題」に象徴されるように、

日本全体で超高齢化が進んでいます。自治組織は住民の皆さんによる自治が基本ですが、組織率の低下は行政としても非常に重く受け止めています。若い世代からは「自治会に入るメリットは何か」という声も聞かれますが、子どもたちの見守りや万が一の時の助け合いなど、目に見えない恩恵はたくさんあります。しかし、昔のような近所付き合いが減っているのも事実です。今後は、加入促進のための補助金だけでなく、会費の負担感の軽減や、地域ごとの異なる組織形態を考慮した新たな支援の仕組みを検討していく必要があると考えています。地域やつながりの大切さを、子どもたちへの教育を通じて伝えていくことも重要だと感じています。今、頭に描いていることを少しでも具限化して皆さんと一緒にやって地域づくりができるように取り組んでまいりたいと思います。

-
- 3 先ほどのお話に関連しますが、地域活動に関して、大井中学校区では、小中学校の統合を機に毎月10日を「挨拶の日」と定め、中学校の生徒が小学校の校門まで来て小学生を出迎えるなど、挨拶運動を継続しています。これは地域が繋がる良い機会であり、お金もかからない活動で、防犯にも繋がります。ぜひ市としても、この挨拶運動を全域に広げるような取組を推進してほしいと思います。

(市長)

素晴らしいご提案をありがとうございます。挨拶は人として当たり前の、人と人が接する際の最初の行為であり、そこから生まれる清々しい気持ちは計り知れません。子どもたちが自ら挨拶ができるようになることは、社会性を育む上でも大変意義深いです。市として「毎月何日は挨拶の日」のような取組を推進することは、地域全体のつながりを深め、防犯にも貢献するものと私も思います。皆さんと一緒に実行できるような形で、前向きに検討させていただきます。

-
- 4 以前、子どもたちの下校時間に流れていた「僕たち私たちの下校の時間になりました」という内容の夕焼け放送がなくなってしまう、残念に思っています。防犯上も重要だと感じていたのですが、騒音が理由で廃止されたと聞きました。音量を調整するなどして、何とか復活できないでしょうか。

(市長)

夕焼け放送については、ご要望を承知しております。確かに、以前は昼のサイレンなども含め、騒音の苦情が多く寄せられた経緯があります。夕焼け放送については、防災行政無線の使用基準により、緊急性の高い放送（例えば高齢者の行方不明者捜索など）に優先度を付けるため、日常的な放送の頻度を控える必要があるという背景もございます。行方不明者の発見報告も、

F メール利用者にはお伝えしていますが、無線では放送頻度が高まるため中々難しいのが現状です。すべての放送について中止しているわけではございませんが、緊急性や優先度などを踏まえた結果、現状の形にしています。

-
- 5 苦情が出るとすぐに中止になる傾向は、非常に残念に感じています。以前あった水辺公園でのバーベキューや、マンション敷地内でのボール遊びなども、苦情で禁止になってしまいました。一度禁止されると、元に戻すのは非常に難しい。私たちの町会では、納涼祭の騒音苦情に対し、事前にチラシで告知し、近隣の方を招待することで、その後苦情がなくなりました。苦情が出た際に、すぐに中止するのではなく、どうすれば折り合いをつけられるか、解決策を共に考える姿勢が重要ではないでしょうか。
-

(市長)

私も、苦情があるからといって何でもやめてしまうのは違うと考えています。ご指摘の通りできない言い訳をするのではなく、やれる方法を考えてという姿勢が重要です。水辺公園のバーベキューは、そもそも都市公園条例上の制約もありましたが、煙や匂いへの苦情が多かったのは事実です。しかし、市民の皆さんの工夫によって解決できる事例もあると認識しています。実際に、市内の一部の公園では、ボール遊びを復活させる方向で検討が進んでいます。安易に禁止するのではなく、共存できる方法を模索することに力を入れてまいります。

- 6 東台金山公園の管理についてですが、昨年水道を設置していただき大変助かりました。しかし、掃除道具や園芸用品を置く場所がなく、景観を損ねる原因にもなっています。危険な道具は持ち帰っていますが、簡単な物置プレハブを設置していただければ、道具の管理がしやすくなり、公園の環境もさらに良くなると思います。
-

(市長)

担当部署と協議し、検討させていただきます。

- 7 大井苗間地区の長期未着手の土地区画整理事業の見直しについて、今年の2月に都市計画課の方からアンケートがきて回答しましたが、用途地域をどこまで許すのか、苗間地域はまだ農業を営む方もいらっしゃいますし、背の高い建物が乱立することは望ましくないという意見もあるので、そのあたりも考慮していただいて進めていただきたく、朝霞市のように、住民の意見を聞く「街づくりサロン」のような場を設けて、住民の声が反映されるようにしてほしいです。
-

(市長)

大井苗間地区の区画整理事業は未着手であります。区画整理の網がかか

っていることで色々な制限を受けています。今回の地区計画の見直しは、用途制限だとかそういった制約の見直しを図り、今後の土地利用を適切に行っていくためのものになります。

そういった中で、ご心配されている高層建物の乱立などがないよう、住民の皆さんの意見を十分に聞きながら、慎重に進めてまいります。一朝一夕にはすすめられる話ではないため、今後ともご協力いただきたいと思います。また、朝霞市の事例のように、パブリックコメントの実施など、皆さんの声を聞く機会を設けたいと考えておりますので、ご安心いただければと思います。

-
- 8 市役所の対応の速さに感謝を申し上げたい件があります。子どもたちの通学路にある U 字溝の蓋の鉄格子が壊れて穴が開いており、子どもが足を挟む危険性があったため、市役所に連絡したところ、すぐに修理していただきました。このような迅速な対応に大変感動しました。ぜひ、市内の通学路全体で同様の点検を行い、安全対策を進めてほしいと願っています。
-

(市長)

感謝のお言葉、大変ありがとうございます。

-
- 9 以前は民間の敷地内に設置されていた電信柱が道路に移設されてきたことで道幅が狭くなり、車とのすれ違いが危険な場所があります。電信柱の設置場所には、何か安全基準があるのでしょうか。

また、最近、自宅の近くで悪質な業者が出没しています。テレビでも話題の「マーキング」や、高齢者を狙った訪問販売のような行為が起きており、非常に不安です。市として、何か対策をとられていますでしょうか。

(市長)

電信柱は、以前は民間の敷地内に設置されていることが多かったのですが、地権者の方のご都合やご要望により、道路上に移設せざるを得ないというケースがあります。本来であれば、通行の妨げにならないよう民有地を活用したいところですが、全ての場所でそれが叶うわけではないのが実情です。

次に、電話詐欺や、おっしゃるような高齢者を狙った悪質な訪問販売は残念ながら多発しています。私たちの市を管轄する東入間警察署管内は、特殊詐欺の被害件数が埼玉県内でワーストという状況です。市としても、青色防犯パトロール車の巡回や道路パトロールなどで地域の目を増やすなど、市民の皆さんにご協力いただいているところですが、警察とも連携し、特に高齢者の皆さんが被害に遭わないよう、啓発活動にさらに力を入れてまいります。